

が★もっともきた

# 最北ね

平成24年2月21日(火)  
～第119号



## 稚内海上保安部

〒097-0023 稚内市開運2丁目2番1号

TEL・FAX 0162-22-0118

ホームページ

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/01kanku/wakkanai/>



## ～キャラクター大集合DEクイズ&記念撮影 (in 稚内)～

1月22日(日)稚内市副港市場内イベント広場において、地元放送局エフエム稚内(愛称FMワッピィ)主催の「当地にゆかりのあるキャラクター大集合」と冠した新春イベントが開催されました。

名の知れた海上保安庁のうみまる君にも、もちろんお声がかかり普段あまり顔を合わすことがないキャラクター同士の交流が図られました。また、当日はたくさんのチビッコたち約300人が参加し、キャラクターに関するクイズ大会や記念撮影が実施されました。



みんなで集合写真

## 吹雪の中、津波災害に備え、陸上避難訓練を実施

2月2日(金)及び4日(土)当保安部所属巡視船艇(もとうら、きたかぜ)は、津波の来襲が早く、巡視船艇が稚内港から安全な水域に進出できない場合に備え、乗組員の安全確保と船体の被害減少を図ることを目的とした陸上避難訓練を実施しました。

本訓練は、北海道礼文島北方約30kmにおいて、M7.8、震源の深さ50kmの地震が発生、この地震により高さ6m以上の津波が30分後には稚内港に到達するとの想定で訓練を行いました。

乗組員らは「今回の訓練では想定する津波到達前に諸作業を終えて避難することができたが、積雪等による道路事情の変化や実際に発生した場合の交通混雑等によるタイムロスも考えられるので、今後も日頃から様々な事態を想定したシミュレーションを行い、実際に津波が発生した場合に備えたい。」と気を引き締めていました。



係留索の増強



重油タンクの弁閉鎖

## 稚内で活躍する巡視船の模型～青少年科学館で展示～

2月17日(金)巡視船艇3隻の模型(100分の1スケール)が稚内市青少年科学館で展示されることとなりました。

3隻は、今年の1月18日で解役した巡視船「PM84しらかみ」、平成20年に解役した「PL111れぶん」と、現役の巡視艇「CL76きたかぜ」の模型で、製作者は平成22年まで当保安部で勤務をしていた稚内市出身の能村浩宣さんです。

能村さんの模型製作は、稚内在勤中に行われ、完成後、海上保安協会稚内支部に寄贈され、その後、「地域の青少年に稚内で活躍した巡視船艇の姿を見て頂き、海への理解を深めていただきたい。」と稚内海上保安部に依頼があり、青少年科学館が展示を受け入れることとなりました。

展示当日は、稚内海上保安部長鈴木啓之から稚内青少年科学館成澤館長へ模型が手渡され、以後、科学館で皆様に見て頂くこととなりました。



展示された巡視船模型



引渡しの様子

## ☆今月のBESTショット☆

おおわし(稚内港)



提供: 吉田次長

解体のため曳航される旧巡視船しらかみ



提供: 吉田次長

バンジャップの浜



提供: 吉田次長

猛吹雪の稚内



提供: 管理課